

0才でも大丈夫!!

ちびもりタイムに、おいでよ!

平日 9:30~13:30

「ちびもりタイム」は、大きな子どもたちが学校や幼稚園に行っている間の、0歳からのちびっこたちが主役の時間です。小さな子が思い思いにしたいことをして遊び、大人ものんびりとくつろげる、そんな場でありたいと思っています。

火曜 赤ちゃんDAY

Tuesday

10時半に「おはよ!の会」をするよ。シートの上でゴロゴロ、のびのび。スタッフやみんなとゆる〜くお話ししながら、風に吹かれてくつろごう。



金曜 みどりの中の自然遊び

Thursday

いろんな実を拾ったり、生きものを探したり。



※月曜日は会議・研修のためスタッフは事務所内にあります。
 ※水・木・金曜日は10:30にスタッフから遊びのコツのミニレクチャーがあります。
 ※曜日テーマにかかわらず、いつものように好きなことをして遊べます。
 ※イベントなどのため曜日テーマの遊びを出せない場合もありますのでご了承ください。

水曜 さわってつくって表現遊び

Wednesday

子どもの森の自然を素材に、くっつけたり、色を塗ったり…アートな日常を一緒にどうぞ?



10時半~12時はスタッフと一緒に曜日テーマの遊びを楽しめます。

ちびもりイベント

Chibimori-EVENT

親子の防災ワークショップ
トイレ、備えトイレ! ※小雨決行
 10月6日(金) 10:00~11:00

城北中央公園とのコラボ企画です。もしもの時、一番困る「トイレ」問題。アイデアで楽しく、乗り越える! ※予約不要。開始時間に来てください。

ちびもりたき火 DAY ※小雨決行
 12月1日(金) 10:00~12:00
 冬が来たら、たき火の季節! 焼いて食べたいものは持ってきてね。

木曜 はじめての外遊び

Thursday

こどもの森がはじめての子ども、外遊びはじめての子ども、みんなおいで!一緒に楽しく外遊びデビューしちゃおう!

10月は「土で遊ぼう」

一緒に土を触ってみることから、始めよう!

11月は「バランス遊び」

イスや板に雨どい…

組み立てて乗って歩いて、おとっと!

12月は「音で遊ぼう」

音を出したり、聞いたり、振動を感じてみよう



秋の恵みの落としもの 子どもと大人の楽しみ方

こどもの森で冬に刈り取るキウイのつるを使って、リースが作れるよ、と呼びかけると、(大人が)みんな喜ぶます。売っているようなものを自分で作れるって、嬉しいですね。

同じ自然のものを使った遊びでも、子どもたちのそれは全然違います。まず、何かを作ろうという目的が…ない。木の実をひたすら器から器に移し替えたり、慎重に地面に並べたり、どんぐりの入ったカゴに手を突っ込んで延々とかき回したり…

大人の見よう見まねで何かを作り始めても、ひたすら自由、制約がありません。「これ、何?」という謎のオブジェができあがったり、そこでやめるの?という終わり方をしたり。大人と違ってあらかじめ「これを作ろう」というゴールがないから、なんでもあり。

そこで「そうじゃなくて、こうしなさい、こうした方がかわいいよ」なんて言うのは、野暮っもの。子どもが自然の素材で「アート」している横で、ママもここに「クラフト」している、そんな姿を見ると、どっちも楽しい、win-winだなんて嬉しくなります。

こどもの森にも、自然のものがたくさん。秋の自然に親しむイベントも行っています。親子で楽しみに来ませんか。

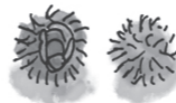
知ろう・遊ぼう こどもの自然

※実の収穫は、自然のものなので思ったようにとれない場合もあります。※詳細はウェブサイトでお知らせします。

●栗ひろい

10月11日(水) 雨天順延 13日(金)
 10:00

大きな栗の実、見つかるかな?



イガで染め物もするよ。(12時終了)
 ハンカチ程度の大きさの布を持ってきてね。
 輪ゴムやビー玉で模様をつけてみよう!
 (染め物は対象目安年齢3歳以上)

●キウイ収穫体験

11月14日(火)~17日(金)
 10:00 ※小雨決行

今年は何れくらい実ったかな?
 スタッフと一緒にやってみよう。



●クリスマスリースづくり

12月8日(金)
 ※雨天順延 15日(金)

10:00~12:00
 キウイのつるで作るよ!
 飾り材料は
 みんなで持ち寄ろう!



「せっかく水族館に来たんだから、もうちょっと魚見てよ!」と思ったことがあるあなたへ

わが子に喜んでほしいと頑張って連れて来ても、思うように楽しんでくれなくてがっかりしたこと、ありませんか?

「遊び」にもいろいろありますが、何よりも「子どもがやりたいこと」でなければ、その子にとって「遊び」ではないのです。やりたいことを、心が満たされるまでやりきる——発達心理学的には、そんな「遊び」の積み重ねが、自分を信じ人生を肯定的にとらえる「生きる力」を育むと言われています。「遊び」は発達とともに変化していくので、小さいうちは、大人が「こんなんでいいの?」ということが、その子にとっては何より楽しかったりします。

教育心理学を専門とする武蔵大学の武田信子教授は、「子どもは自分の好奇心から遊んでいるとき、自らの脳を育



遊ぶ、育つ、生きる力

ね 根っコラム

てているんです」とおっしゃっています。

小さな子が石で公園の遊具の支柱をひたすら叩き続けている時、キンキンという音がさっきと今とで少しだけ違うことを感じ取ったり、叩く場所や強さを変えて感触の違いを味わったりしています。つまりその間じゅう、活発に脳を使っているのです。「人はそうして、遊びながら頭の使い方を学んでいきます。そのように遊んだ子は、学校で教わるいろんなことも、そのまま鵜呑みにするのではなく、自分で考えて吸収します。そして社会人になっても、本当の意味で賢く生きていくことができるのです」(武田先生)。

やがてからだ心と脳が成長し、一緒に水族館で過ごす時間ももっと楽しい時期が、きっとやってきますよ。

イベントレポート EVENT REPORT date: 2017/5/30 ほか

赤ちゃん DAY (毎週火曜日実施中)

風を感じながら揺れるカーテンを眺めたり、草の上に座ってみたり、全身でいろんなことを感じ取りながら遊んでいるよ。赤ちゃんが楽しそうだとママものんびり気持ちいいね。



Yondemi?

おすすめ BOOK

70センチの目線

小竹めぐみ・小笠原舞著

小学館集英社プロダクション

私たち誰もがかつて子どもだったはずなのに、「大人も子どもも同じ人間」ということを忘れてしまっていないか。70センチの目線から世界をどんな風に見ていたか、どんな気持ちで過ごしていたのか。小さくてもいろんな思いがあった子ども時代を思い出し、子どもにもっと寄り添おう、そう感じられる一冊です。

